

様式第1号（第8条関係）

平成28年11月29日

小山市議会報告会運営委員長 様

報告者 1班 小川 亘

議会報告会実施報告書

1 開催日時	平成28年11月17日
2 開催場所	絹公民館
3 出席議員	小川亘 森田晃吉 苅部勉 大木英憲 荒井覚 小林英恵 石川正雄 石島政己
4 参加者数	6名
5 実施内容	平成28年第3回定例会（9月議会）の審議内容 質疑 応答 意見交換会（議会改革、ロブレ、本庁舎、その他）
6 主な質疑と 回答	<p>Q. 市民の代弁者として議会は想いを受け取ってくれると信じて陳情を出したが、陳情を出した人の想いを汲み取っているとは執行部と議員のやりとりの中で見えて来ない。陳情が不採択なのは書き方が悪いのか。</p> <p>A. 陳情の取り扱いについても議会改革の中でしっかりとルールづくりをして対応できるように改革していく。</p> <p>Q. 総合評価落札方式とは。</p> <p>A. 価格の面だけではなく、技術者や内容等を加味して評価して落札する方式です。</p> <p>Q. 第四工業団地の場所は。</p> <p>A. 鉢形。</p>
7 意見・要望	<ul style="list-style-type: none">・議会改革の常任委員会の複数所属は良いと思う。・ハイビジョン化の効果が何なのか分からない。・タブレット端末のペーパーレス化についていけない議員もいるのではないか。

- ・ペーパーレスだと印刷代等削減できてエコである。
- ・議会だより等もいずれはインターネットとなるのか。
- ・ハイビジョン化しても市民にメリットはないのではないか。
- ・絹義務教育学校のスクールバスの運行に対し保護者の不安が拡大している。何かあった場合、応急手当など執行部は運転手に一任するとの答弁だった。先生を添乗して欲しいとの要望がある。事故があってからでは遅い。ある前に対策して欲しい。座る位置等のイジメの心配。
- ・他の自治体に議員が視察に行きスクールバスの安全対策の取り組みについて、スクールバスの運行状況を調べて執行部に提案して欲しい。
- ・山間部のスクールバスの状況を聞くと運転手一人のようなので、運転中に児童に目配りできる資質のある方に運転手をお願いしたい。
- ・低学年の児童にシートベルトをして座れるか心配なので事前に予行練習をして欲しい。データではなく保護者にバスの運行について安心感を持たせるべき。